

花園ラグビー 応援・観戦記 夢の花園 ありがとう

富田 鉄人

(昭和32年電気科卒)



秋田県予選決勝戦は母校が秋田中央を振り切り（スコア24-17）54回目の優勝を飾り、2年連続63回目の全国大会出場を決めました。花園への切符を手にすることが今年もできた、それが最高に嬉しく感激で目頭が熱くなりました。花園に連れて行ってくれたラグビー部全選手と船木校長をトップに黒沢監督、コーチ、生徒、各関係者の皆様方の花園に掛ける執念とご尽力に感謝をします。

第90回全国高校ラグビー大会（12/27~1/8 東大阪市近鉄花園ラグビー場）は記念として、4校増枠して過去最多の55校が参加し盛大な大会となる。秋田工はBシード、2回戦からの登場（12/30 11:30から花園第3グラウンド）となり、明和県央（群馬）と対戦。前半17分にS O村井が、密集の右側に移動しながらパスを受け、相手ディフェンスを振り切り独走の先制トライ、FWが接点を支配すると、村井のステップにもキレが戻り、突破しては再びFWに球を託した。5点差に迫られた終了間際もラインアウトを寺田の長身に合わせ、モールで押し込んだ。敵陣ゴール前の、力勝負を制して4トライを挙げ、スコア24-14で2年振りの初戦突破、5年振りの正月越えを果たしました。

大会4日目は1月1日に3回戦8試合、秋田工は11時45分から近鉄花園ラグビー場第一グラウンドで東海大仰星（大阪第3）と対戦、試合開始から17分までは秋田工ペースで進行し前半2分にラックからBKにつなぎFB成田が右中間に先制トライ（ゴール成功）。同15分に村井主将のインゴールへのキックをWTB佐々木がトライ（ゴール失敗）、同17分にもラックから展開してFB成田が左中間に飛び込みトライ（ゴール成功）、速攻で19-0と大きくリードする。しかし、東海大仰星は高校日本代表候補の小原・井波の両WTBと西村SHの3名を中心にスピードあるランニングラグビーを展開、小原の独走トライから、10分間に3トライをされ19-19に追いつかれて、試合の流れが東海大仰星へ。秋田工は後半9分にS O村井のキックをキャッチしたWTB伊藤が右隅にトライ（ゴール失敗）再度リードしたが、同12分と同18分にトライを許し（ともにゴール成功）終了間際の猛反撃も及ばなかった。

この試合の勝負どころは、前半のラストタイムに敵陣地ゴール前のモール攻撃で、トライに挑みましたが、残念ながらトライはできなかつた。ベスト8以上の目標達成は出来ませんでした。全国のトップクラスのチームと互角の試合をされた選手の皆さんは良く頑張られた、その健闘を称えたい。

今回の秋工の応援団は、対戦校を上回る大勢が集結して大声援、故郷秋田から船木校長を始めとして秋工ラグビー後援会佐々木会長・中野副会長、生徒多数、父兄多数、秋工同窓会関西支部・東海支部から大勢の皆様、近畿秋田県人会・東海秋田県人会の皆様、秋田県大阪事務所 藤井所長、東京雄水会和田会長、関東ラグビーフットボール協会志賀会長（ROB会顧問）、東京秋工会三平会長、辻村副会長、小野幹事長、その他大勢の皆様が12月30日と1月1日の両日にわたり大声援の応援をいただきましたこと、心から感謝申し上げます。高校スポーツのスタンド応援について、色々制限のある中で辻村氏、小野氏は郷土の「なまはげ応援」で選手の士気を鼓舞されました。

東海大仰星高校戦について、私見を交えて述べさせていただきます。秋工の目指すアップテンポでボールを動かすラグビーを展開、攻撃面はテンポ良くトライを重ねる試合運びに、目標の「ベスト8」以上確保を信じましたが、ディフェンスの発達した近代ラグビーの防御は、薄く幅広く横一線に並んだイメージ。東海大仰星は、そこに縦長のユニットで穴を空けて攻撃の突破口を持つとして、五角形の5人攻撃（キャリアー1人、左右サポート2人、左右テイル2人）、前半27分、秋工のキックオフボールを自陣22メートルライン付近から右に展開、5人で外へつなぎWTB小原がトライ、同点とされる。ブレイクダウンは、ラックを前提としていない。タックル直後から複数で前へ出て行く、ノーラックラグビーに対する、防御の戦略・戦術が必要と思います。秋工は、堅固な組織ディフェンスと接点の強さの強化（10分間に3トライ19点の失点）の必要性を痛感いたしました。

日本開催の2019年ワールドカップにむけ、海外強豪チームに比べ体格で劣る日本が目指すスタイルは「4H」だそうです。低く、速く、激しく、走り勝つ。高校代表で激しさを覚え、U20で走り勝つスタミナを蓄え、A代表はスクラムやタックルなど低さを逆手にとって強みとする戦いを探り、日本代表でカーワンHCが日本人の最大の武器とする「俊敏性」を生かした戦術を追求する、この日本代表の「4H」の指針を本校の強化の参考にされてはと思います。2019年ワールドカップ代表に本校卒業生が選出されることをご祈念いたします。最後になりましたが、年末年始の八剣伝においての祝勝会、残念会は、関西支部、福田支部長・菅幹事長、その他役員の皆様にご世話になりましたことに感謝申し上げます、次の花園ラグビー大会も宜しくお願ひ申し上げます。

設計・監理



株式会社 **渡辺佐文建築設計事務所**

代表取締役会長 渡辺 佐文 (昭25建築科卒)

代表取締役社長 池田 匠

取締役 櫻庭 星治 (昭46建築科卒)

取締役 北嶋 信義 (昭47建築科卒)

〒010-0954 秋田市山王沼田町6-8

TEL 018-863-8431(代) FAX 018-863-8432

E-mail: watanabesabun@nifty.com http://watanabesabun.com